

## 学力向上を保障する鑑賞指導（『海の命』 光村小6）

日時 平成26年9月20日（土）10:15～10:45（30分）

児童 小学4～6年生8名／授業者 柳谷直明（妹背牛町立妹背牛小学校長）

- 1 教材名 「9 物語を読んで、考えを深めよう 海の命（光村国語6 創造）」
- 2 本時の目標（指導事項である「学習用語」はゴシック太字網掛けにした。）
  - (1) 鑑賞（言語活動）を通して、**物語**、**疑問**、**省略**、**擬人法**、**人物像**、**深意**、**直喩**（「学習用語」）を習得させる。
  - (2) 討論を通して、**立場**、**根拠**、**反論**を習得させる。
  - (3) 交流を通して、**価値**、**引用**、**選択**、**理由**、**感想**、**発表**を習得させる。
- 3 本時の展開

配分	児童の学習活動	教師の働きかけ	留意点
0分	1 学習意欲の喚起 <b>物語</b> の読み方をあまり知らない。知りたい。	1 学習意欲の喚起 <b>物語</b> の一つの読み方を教える。楽しみだろう。	着語－芦田式教法。
	2 鑑賞 <b>疑問</b> を持つ。「近く」が <b>省略</b> されている。 <b>擬人法</b> が使われている。謙虚が父の <b>人物像</b> だ。恵みは与えてもらっているという意味。 <b>深意</b> は自分の力ではない。自慢せず、文句も言わない。	2 鑑賞 着語で進める。 「海に」住んでいるのか。 「海のどんな表情でも」。海に表情があるのか。 「じまんすることなく」とは、何を意味しているのか。 「めぐみ」とは、何か。 「こときれて」の意味は？ 「まるで岩のような魚」とは、岩なのか魚なのか。	「どうしてだろう」「そこで」とかいいう独り言を挟む指導法。 自慢しない。驕らない。思い上がらない。これらから、謙虚が父の人物像の一つと読ませる。
10分	3 討論 賛成。すぐに動かなかったから諦める。反対。これまでも仕留めたから。	3 討論 自分だったら、すぐ逃げる。 賛成か反対か。 <b>立場</b> を決める。 <b>根拠</b> を書く。 <b>反論</b> する。	高学年では、評価力を育て、他者の生き方を通して、自分の生き方を考えさせる。
20分	4 交流 「海のめぐみだからなあ。」 <b>人物像</b> が分かるから。太一の父は謙虚だ。	4 交流 <b>価値</b> ある文を決める。それを <b>引用</b> し、 <b>選択理由</b> と <b>感想</b> を <b>発表</b> する。違いに気づき、褒め合う。	

- 4 本時の評価 言語活動を通して「学習用語」を指導し、行為させたか。